

イモリの成長

昨年の2月ごろ、アカハライモリの水槽のなかに複数の卵を発見しました。水草で包むように産み付けられた卵はバックヤードの水槽へ移動され、次々とふ化しました。ふ化したばかりのイモリの幼生は目のうしろに水中で呼吸するためのエラがあり、まるでウーパールーパーのようにかわいらしい姿をしています。しばらくすると前足が生えて底をはうようになり、続いて後ろ足が生えてのそのそ歩き始めました。成長するにつれエラが小さくなっていき、生まれてから3か月ほどで上陸するようになりました。



△幼生のアカハライモリ

アカハライモリは幼生のころは水中、幼体のころは陸上、3年ほどかけて成体になると再び水中で生活するようになります。決して素早いとはいえない難い彼らの動きですが、外敵から身を守るための手段として皮膚に毒を持っています。名前にも表れているおなかの鮮やかな赤色は、毒をもっていることを知らせる警告色です。身の危険を感じると赤いお腹を上に向けて「毒をもっているよ」というメッセージを出します。昨年生まれたイモリはもうすぐ1歳になります。新しい弟や妹の誕生も期待しつつ、彼らの成長を温かく見守ります。



△成体のアカハライモリ

元気っ子 しゅうごう

掲載希望は
広報戦略係まで

ひろ のり
広憲くん
(9か月)



パパ・ママより

伊勢正憲さん、可愛さん
(鴻島町)

好奇心いっぱい元気いっぱい！ニコニコしてくれることも増えてきたね！

お父さんお母さんは広憲の成長が楽しみだよ。

ここね
心音ちゃん
(3歳)



パパ・ママより

杉浦秀樹さん、中生子さん
(坂口町)

パパとママのところに生まれて来てくれてありがとう。これからも元気と笑顔いっぱいであってほしい。

こはる
心春ちゃん
(1歳)

ゆい
由依ちゃん
(10か月)



パパ・ママより

岩野敏治さん、千佳さん
(堀方町)

10か月おめでとう！これからもすくすく元気に育ってね！今はハイハイだけど、歩けるようになったらいっぱいお出かけしようね。